

日本看護歴史学会 会報

日本看護歴史学会
第8号
1990年8月1日

看護歴史学の確立をめざして

高橋 みや子

いよいよ第四回大会も間近になってまいりました。

昨年、保助看法指定規則の改正があり、本年四月より施行されました。看護歴史の扱いが変わり、看護学概論の中の看護の変遷、小児看護概論の中の小児看護の変遷と理念、母性看護概論の中の母性看護の変遷となっています。何時間とるか？、または選択必須科目に独立科目として看護歴史学を立てるのか？、学技や教員の姿勢が問われるところで、波紋をなげかけております。

ところで、日本の看護界が手本としている米国ではどのような状況なのか？先頃、来日したアラバマ大学看護学部のリンダ・オリベットの講演「看護哲学と看護教

育学」の一部を紹介したいと思います。

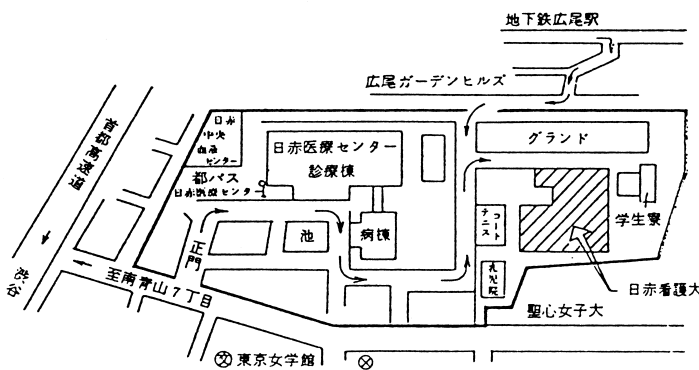
看護教育は大別するとコンペティンス、ケアリングとコミットメントの三つの領域から成り、看護にコミットメントすることは重要です。コミットメントすると看護は単なる職業ではなく、一生、情熱をもって行なうライフワークとなります。看護史は、学生が看護にコミットメントする契機となります。折にふれて、教育の場でも実践の場でも、看護史と看護界のリーダー達について語ることは重要な意味を持ちます。と看護史の意義を強調しました。看護歴史を考える一つの視点を示し、示唆されます。

確か、第二次世界大戦後、一九

四六年看護教育模範学院では、看護史及看護倫理（15時間）をGHQのミス・マチソンが担当しました。一九四九年の保助看法指定規則（文・厚令一）では30時間となり、その後一九五一年の改正で20時間となりました。さらに、一九六七年の大きな改正の際、独立科目ではなく、看護概論（60時間）の内に含まれ、備考に看護史を含むと記載されました。

本来ならば、混沌状態の現代こそ、歴史認識が必要とされるころなのですが、一九八九年の改正では、遂に備考からも削除され冒

〈日本赤十字看護大学 案内図〉



- JR 渋谷駅より都バス(学03) 日本赤十字社医療センター行 終点下車
- JR 恵比寿駅より都バス(学06) 日本赤十字社医療センター行 終点下車
- 地下鉄広尾駅六本木寄り口下車 徒歩10分

頭に述べた状況になったのです。この背景には、看護歴史、看護哲学・思想は不用であるとの発想と同時に、看護歴史学が未確立なことや、研究者・教員が決定的に不足し、教科目が機能しなかったという事情もありそうです。

当面、看護歴史研究を活発にし、看護歴史学の確立をめざさなければなりません。今年、講演「歴史研究の基礎および十年以上看護歴史研究に取り組んでこられた諸先輩によるシンポジウム「歴史的研究の実践」を企画しました。分科会もあらかじめ内容を紹介しました。相互に刺激し合い、学び合い、新しい研究領域に挑戦して行きましょう。看護歴史研究を知るために、多くの方々の参加を期待しております。

日本看護歴史学会 第四回大会開催日程

会期 8月18日(土) 8月19日(日)
会場 日本赤十字看護大学

第一日 8月18日(土)

12時 開場

12時30分 受付開始

13時 開会

13時15分～14時45分 記念講演

「歴史研究の基礎」

東京大学教授 寺崎 昌男氏

司会 藤村 龍子

15時～16時 会員による研究報告

司会 加藤 光宝

1 官制・心得等からみた近代看護
管理者の名称、地位、定員、職
務の変遷について

鶴沢陽子氏・鶴岡藤子氏

2 保健婦教育の開始から保・助・
看令公布までの保健婦教育の実
態

笠井ナミ子氏

3 我国における近代政治の変遷と
看護改革とのかわり

田中幸子氏

16時～17時 総会

18時～20時 懇親会(417番教室)

度活動方針、同予算審議、他)

(事務局・会計報告、一九九〇年

司会 高橋みや子

司会 小玉香津子

依田 和美

第二日 8月19日(日)

9時30分～12時30分 分科会

(担当 渡部 尚子
高橋みや子)

12時30分～13時30分 休憩

13時30分～14時 分科会の報告

14時15分～16時15分

シンポジウム

「歴史的研究の実践」

司会 渡部 尚子

ナイチンゲール研究所 小南 吉彦氏

元日本赤十字看護大学図書館 吉川 龍子氏
坂本 玄子氏
看史研究会 閉会
16時20分

第四回大会に参加される方は、
次の事項に御留意下さい。

- (1) 会員証を必ず持参して下さい。
ネームプレートになります。
- (2) 大会参加費 三〇〇〇円
懇親会会費 三〇〇〇円
2日目の昼食 一〇〇〇円
(事前注文者に限る)
- (3) 参加希望の分科会名、懇親会
出席の有無などはハガキで8
月16日(木)までに大会事務局へ
お知らせ下さい。

〒280
千葉市亥鼻一―八一―
千葉大学看護学部
日本看護歴史学会
大会事務局 宛

- 第四回大会参加申込書
1. 会員番号
 2. 氏名
 3. 希望する分科会名
 4. 懇親会出席の有無
 5. 二日目昼食希望の有無
 6. 大会事務局への要望

分科会

現在、話題提供者が決定してい
る分科会は次の通りです。会場は、
第一日目に掲示します。

1 文学・映像にみる看護
「『讃岐典侍日記』における看
護」
高田節子氏

讃岐典侍日記は、死病にとりつ
かれた堀河天皇の看護記録と回想
記より成立している。作者であり、
看護者である藤原長子の看護する
姿勢を学びとりたい。

讃岐典侍日記を手軽に読みたい
方は、森本元子著「讃岐典侍日記」
(講談社)の文庫本がある。

2 看護教育史
「十年の看護史授業実践をかえ
りみて」
山崎雅代氏

現代っ子たちに歴史への興味を
おこさせ、看護の諸問題を認識さ
せるための授業展開とはどのよう
なものか、参加者の御意見をうか
がいながら、ともに考えて行きた
い。

- ① 御自分の講義の中での工夫な
どの資料(歴史以外でも可)
- ② 現代っ子たちの印象に残る授
業とは―アンケート調査や感
想文などによるもの―
- ③ 国内・海外を問わず、歴史上
の出来事より感ずる事など。

3 GHQ

「再教育の実際と意義について」
山本捷子氏

国立病院婦長を対象に行なわれた再教育講習会の筆記ノートを資料に、再教育とその後の看護教育・管理との関連を考察する。

4 臨床看護史

「看護学教科書における枕についての記述」
中林照子氏・花鳥具子氏

現在、私達は枕を看護の道具として、多様に使用している。多様となった分、頭の下に使う枕の記述は画一的となった。枕について明治・大正・昭和に記述された内容を示す。

枕をはじめ、看護に用いる道具の歴史的・民俗学的史料を持参いただき話し合いたい。

5 助産・助産婦の歴史

「助産婦の職業確立について」
—埼玉県下、明治期の産婆教育と医療・社会的背景の視座から—
佐山光子氏・渡部尚子氏
安部京子氏

我々の先達はいかにして職業化をすすめるか、地域に密着した活動を行なったのか？研究領域、研究方法、史料等について大いに話し合

いましょう。母性看護に関心のある方、助産婦の方、集まりましょう。

6 病院の歴史

「修道院にみる病院看護の歴史」
川口孝泰氏

修道院の歴史を調べてゆくことは、病院建築の歴史的な意味を検討してゆくときの重要な示唆を与える。と同時に、病院看護の原型とも思える奉仕（サービス）精神が、修道院の客院の中でどの様に育まれ、また後の時代の専門医療職へと、どのような変遷をとげていったかをアナロジカルに歴史的な検討を加えることは非常に意義深いと考える。

まったく専門外の私ですが、是非お手持ちの興味深い資料等ありましたら、持ち寄ってこの問題について話しあいましょう。

7 各国史

「ブラジルの社会構造の中の健康と看護教育の発展」
アンジェラ・多原、佐藤・民子氏
ブラジルの社会と健康、ブラジルの看護教育制度の発展の経緯とバイア州の大病院の活動について報告する。研究のため、一年間日本に滞在しています。大いに情

報交換しましょう。

報交換しましょう。

分科会は、研究領域、研究方法、史料等に関して情報や意見交換をする場であり、相互に学びあう場です。関心分野がはっきりしていない方は、あちこちの分科会をのぞいてみて下さい。和気あいあいの内に自分の関心事を形あるものにして行きますよう。
飛び入りでの話題提供を歓迎します。『この指にとまれ』と名乗りをあげて下さい。受付8月16日（木）まで。宛先、大会事務局。

看護学生の哲学入門

●人間理解のために
共著／内藤純郎
(横浜市立大学文理学部・助教授)
伊藤泰雄
(横浜市立大学医学部附属看護学校・講師)

●主な内容
人間らしさ／身体・表現・世界／生と死／他者と愛／言葉・比喩・論理／責任と自由／世界と社会／創造の秘密／技術と科学／自然と人間／哲学からみた看護

●A5判●228頁●定価1,751円(税込)

学研メディカル出版事業部 〒145 東京都大田区上池台4-40-5
☎03-726-8338(販売部直通)

事務局だより

◆事務局がかわりました

先の第二期幹事選挙にともない、新幹事が今年度より会務にあたることになりました。その結果、本会の事務局は左の住所に変更されましたので、今後は事務関係のお問い合わせはそちらのほうへ郵便でお送り下さるようお願いいたします。

〒604 京都市中京区壬生東高田町一〇二
京都市立看護短期大学内
日本看護歴史学会事務局宛

なお、新幹事には次の方が就任されるのが内定いたしました。

(敬称略)

亀山美知子(事務局)

青木うめ子、依田和美(会計)

高橋みや子、渡部尚子(分科会)

藤村龍子、小玉香津子、吉川龍子、山本捷子(学会誌)

ライター玲子(広報、渉外)

このほかに、対外的な会務の執行上、代表幹事には亀山があたる事が内諾されました。新幹事については、今年度の総会の場で承

認が得られた際、実効することになりませんので、総会には多くの方々の御参加を頂きたいと思えます。

◆「看護婦百年のあゆみ写真展」の記念アルバムの作製について

本会では一八八〇年を日本における近代的看護婦発祥の年と定め、関連事業を行ないましたが、その折に開催した写真展については、参観者の多くから記念アルバムを作製して欲しいという要望が出されましたので、幹事会で継続審議の結果、今回、記念アルバムの作製を具体化することになりました。アルバムは今月中には刊行される予定ですので、その運用等については総会の場で審議する予定です。

◆会員消息

〈住所変更〉

- 渡山恵子↓89525 大口市宮人四八二
- 若宮莊二〇九号へ
- 武藤美知↓910 福井市河増町二九一
- 県立短大教職員宿舎
- 一五一一
- 二〇三号へ
- 近藤麻里↓PHAN-PHIT COURT
- 506 160 PHAT 2SILOM R.D.

- BANG KOK THAILAND
- 山根節子↓270-14 船橋市小室町
- 九〇四 A-四一〇一一へ
- 〈勤務場所変更〉

- 江崎フサ子↓埼玉医科大学短大へ
- 舟越 文代↓柏原赤十字病院へ
- 佐藤サツ子↓拓桃医療センターへ
- 武藤 美知↓福井県立短大へ

〈次の方の御住所をお知らせ下さい〉

- 高橋由美子、芝田香代子
- (以上敬称略)

〈訃報〉

洲脇絢子氏

本会の第一期幹事をつとめられた洲脇絢子氏(京都市立看護短大)は、かねてより病氣療養中でしたが、去る六月六日、薬石効なく昇天されましたので謹んで御報告いたします。

洲脇氏は一九四二年に京都市に生まれ、京都市立看護短大を卒業後、聖母女子短大助産婦学科に学ばれ、敬虔なカトリック信者でした。一九七二年には京都市立看護

短大の教員となられ、母性看護学の教育にあたられる一方、旺盛な幅広い知識欲から、産習俗はじめ、ガラパゴス諸島の生物の生態調査などにあたられました。

また、本会の創設および記念写真展には多大な尽力をされたことは会員諸氏の記憶に新しいところです。最近では同病に苦しむ方々を励まそうと闘病記を執筆されるなどして、一貫して「良き人」として生き抜かれました。ここにあらためて、洲脇氏の御冥福を祈る次第です。

なお、本会からは告別式に花輪一对を贈らせて頂きました。

看護史一口メモ ②

桜井女学校卒業の鈴木雅は、日本の派出看護業の草分けとして知られているが、明治三三年以降、その消息はまったく不明となってしまう、彼女が経営していた東京看護婦会は、同級生の大関和が経営することになった。この裏には同会内部に内紛が生じていたためということが明らかになった。(『婦女新聞』第六五号、明治三四年八月五日)

—会費納入のお願い—

1989年度会費

未納の方々は、大至急、下記の郵便振替口座へ御送金下さい。

(年会費 3,000円)

京都1-52185 日本看護歴史学会

編集後記

日本看護歴史学会も出帆してから満四年。ひとつの岬を回り、次の港をめざし出発進行。行く手は順風となるか、逆風となるか? ついに七月末となりぬ。時節流るるが如し時人を待たず、発行の遅れを深謝せん。(み)

日本看護歴史学会会報第八号

編集・発行責任者

〒280 千葉市亥鼻一八一

千葉大学看護学部内

高橋 みや子

頒価 三百円

日本看護歴史学会事務局

〒604 京都市中京区壬生東高田町一

京都市立看護短期大学内

二

日本看護歴史学会事務局